

軍令部

大海指特第二號

昭和二十年九月十日



海軍大臣 米内光政

軍令部總長 豐田副武

須世保	須世保	須世保	須世保	須世保	須世保	須世保	須世保
海濱	海濱	海濱	海濱	海濱	海濱	海濱	海濱
備備	備備	備備	備備	備備	備備	備備	備備
府府	府府	府府	府府	府府	府府	府府	府府
司令	司令	司令	司令	司令	司令	司令	司令
長長	長長	長長	長長	長長	長長	長長	長長
官官	官官	官官	官官	官官	官官	官官	官官
殿殿	殿殿	殿殿	殿殿	殿殿	殿殿	殿殿	殿殿

大軍令第五七號ニ基キ政府大本營布告一般命令指令第二號ニ關シ左ノ如ク



り(一)まで

指示ス

一 一般命令指令第二號附錄「B」第二項實施、爲系統制司令部、各地最高指揮官、所轄地域、所轄部隊及關係聯合國軍指揮官別紙、通トス

二 獨頭守府司令長官ハ各地域最高指揮官ヲ通シ北海道、本州東部地域（新潟、群馬、山梨、神奈川各縣ヲ含ミ以東、本州）ニ於ケル所轄部隊（一切、海軍各廳ヲ含ム以下做之）、終戰事務及連絡事務ヲ統制スルモノトス

三 佐田保守司令長官ハ各地域最高指揮官ヲ通シ本州西部（本州東部以外、本州）、四國及九州ニ於ケル所轄部隊、終戰事務及連絡事務ヲ統制スルモノトス

四 大阪警備府司令長官ハ終戰事務、連絡事務ニ關シ本州西部地域ニ於ケル諸府守府所轄部隊ヲ直接指揮スルモノトス

五 各地最高指揮官ハ左ノ諸項ヲ實施スルモノトス
（一）速ニ左ノ諸項ヲ實施スルモノトス

り（一）まで

（一）擔任海域各港灣ニ於ケル防材ハ二週間以内ニ之ヲ除去シ設置シタル管制設備ハ全部電線ヲ切斷シ之ヲ無効ナラシム

又各港灣及泊地施設内ニ在ル破壊用爆藥（敷設シタル地雷等ヲ含ム）ヲ除去シ若ハ危險無キ如ク且其ノ位置ヲ明確ニ標示ス

（二）港務業務ニ從事スル職員（武装解除ス）ハ何分、指示アル迄其ノ職場ニ在リテ現業務ヲ續行スルモノトス

（三）一切ノ艦船ハ其ノ航泊ヲ問ハズ裝備全火器（砲銃）ヲ前後ニ向ケ察止シ且使用ヲ不能ナラシム

（四）擔任海域及従前、陸上作戰擔任地域ニ於ケル機雷敷設海面、地雷敷設地域其ノ他障害物ノ位置ヲ明瞭ナラシムル如ク速ニ標識ヲ設置スルモノトス

（五）掃海用艦艇ハ武装解除後所要燃料ヲ補給シ所要ノ人員、器具ヲ整備シ掃海作業ヲ實施シ得ル如ク準備シ置クモノトス
本土及朝鮮海域ニ於ケル機雷掃海ハ聯合國軍最高指揮官所定海軍代表

、指示ニ依リ實施スルモノトス

(二) 従前ノ陸上作戰擔任地域ニ於ケル一切ノ地雷、地雷原及破壊用爆藥、隠匿セル爆發物其ノ他障害物ハ戰車壕等陷穽ノ類ヲ含ムヲ安全ナル状態トナシ爲シ得ル限り速ニ之ヲ除去スルモノトシ此ノ間總テ安全通路略テ明示スルモノトス

(三) 海軍ニ於テ所有スル有線電信、無線電信、無線電話設備ハ之ヲ完全ニ維持シ現在ノ人員ニ依リ使用ヲ繼續スルモノトス

聯合國軍最高指揮官代表ノ要求アリ次第事情ニ依リ檢閲監督ノ必要ヲ認ムル時ハ上記設備ニ立入ルノ便宜ヲ與フルモノトス

(四) 航海。航空ニ對スル總テノ補助施設(飛行場施設ヲ含ム)ハ速ニ復舊スルモノトシ之ガ完成ヲ見ル迄ハ航路標識ハ最大光度トナスモノトス

(五) 氣候機關ハ追テ指示アル迄作業ヲ繼續シ氣象資料及設備ハ現状ノ確保高スルモノトス

六 各地最高指揮官ハ一般命令及本指示ノ範圍ニ方リテハ大本營、帝國政府、聯合國軍最高指揮官軍中入隊隊員等ノ基礎トシ且現地ノ實情ニ即

應シ關係聯合國軍最高指揮官ニ屬シテ局外觀察ニ對シテ報告カラスモノトス

七 各地最高指揮官ハ一般命令及本指示ノ範圍ニ方リテハ大本營ニ報告スルト共ニ一切ノ情報ヲ本營ニ報告スルモノトス

ルモノトス

佐世保鎮守府 新島、生名、志賀、大東、嵯來、竹生、吳鎮守府編四
八號、七六號、七七號、一〇二號、一五六號、二一七號、大阪舊備府
海一〇四號、一五四號、大漢管備府神津、倉橋、屋代、海四九號、
三掃海用燃料トシテ追加補給所妥彙至急報告スベシ

(終)